

～先生のおすすめ本～ その4

正親 先生

『下町ロケット』
池井戸 潤/作

大田区の町工場(佃製作所)の開発した特許がなければロケットは飛ばない。

大田区の町工場が取得した最先端特許をめぐり、中小企業(佃製作所) VS 大企業(帝国重工)の熱い戦い!

かつて研究者としてロケット開発に携わっていた佃製作所の社長が技術・プライドをかけた痛快なストーリーです。ぜひ、読んでみてください。

腰塚 先生

『チーズはどこへ消えた?』
スペンサー・ジョンソン/作

ネズミの「スニッフ」と「スカリー」、小人の「ヘム」と「ホー」がチーズを求めて右往左往するお話。

変化は新しいよりよいところに導いてくれる。自分を4者に重ね合わせ、これからの考え方が変わるかもしれない1冊。

割と短い本なので、ざっくり読めてオススメですよ!

小倉 先生

『奥多摩・奥武蔵・秩父
人気の山50』
(大人の遠足 BOOK)

私たちは自然の多い青梅に住んでいますが、ちょっと近くの山に行ってみませんか?

この本は、首都圏からのアクセスが良く、整備された登山道の多い奥多摩・奥武蔵・秩父エリア。

「これから登山をはじめてみたい」初心者から、親子で短時間で登りたい「ファミリー」、「ビギナーからステップアップ」、「夏山トレーニング」など、さまざまなプランに対応できます。全コース所要時間、歩く距離、高低の険しさがわかる標高差と高低図、そして5万分の1、2万5000分の1地形図をベースにした、わかりやすい登山地図がコンパクトにおさめられています。

豊田 先生

『トロッコ、くもの糸、鼻』
芥川 龍之介/作

短くて読みやすいが、文がとても美しいことと、人の心を見事に表現されている所がおすすめです。日本語の美しさを感じてほしいです。

花田 先生(スクールカウンセラー)

『だいたい自分のできる
心配の追いはらい方』
ドーン ヒューブナー/作

心配や不安な気持ちについての解説と対処法について紹介しています。小学生向けなのですが、それだけにわかりやすく、同時に大人が読んでも参考になる部分があります。

状況が不確かな時、人は不安になりがちです。そんな時はSNSだけでなく、こうした書籍などからも情報を得るのも良いかと思います。